

第2期「今までにない写真教室」スケジュール表

※7/15改(9月は7日に変更されました)

講師  西本 和民 氏	【2020年】				【2021年】	
	6月	08日(月)	9月	07日(月)	1月	18日(月)
	6月	15日(月)	10月	12日(月)	2月	15日(月)
	7月	13日(月)	11月	16日(月)	3月	15日(月)
	8月	17日(月)	12月	14日(月)	4月	12日(月)

※6/8はコロナ騒動による5/18の初回延期分。3/15は写真公募展の会場設営と重なるため、休講の可能性あり。

【時 間】 11:00 ~ 13:30 (10:00開場、全席自由・先着順)

【場 所】 朝日新聞名古屋本社15階 朝日ホール

【内 容】 発見力・着想力・表現力を養う「創作写真」の世界(毎回、別テーマ)

【受講料】 各回 会員:2,000円 一般:3,000円(都度払い、税込み)

【条 件】 ①デジタルカメラをお持ちの方(コンパクトデジカメやスマートフォンでも可)
②途中からでも結構ですが、なるべく続けて参加できそうな方(特に初回は重要)
③Eメールの送受信ができる方(連絡事項などを一斉送信するので必須)

【申込み】 中部本部(chubu@photo-asahi.com)宛に ①氏名 ②住所 ③携帯番号 を送信

【問合せ】 電話:052-221-0304 (平日10:00~18:00) か上記のアドレスまで

詳細内容



◆◆◆◆◆◆◆◆ 第2期「今までにない写真教室」開講に寄せて ◆◆◆◆◆◆◆◆

まず最初に断っておきます。

当講座を受けても、写真コンテストで常に入賞するようになることはありません。ただし「あなたの写真ライフは必ず豊かになる」。それだけは自信を持って言えます！

さて。唐突ですが、写真の世界は大きく分けて3つあります。

- ① 風景やスナップなど、その場所でありのままを切り取る「記録写真」
- ② カタログやメニューや広告など、購買意欲を喚起させる「産業写真」
- ③ アーティックでインテリアにもなる、部屋に飾って心地よい「芸術写真」

私たちが楽しんでいる分野は、①のほんの一部で、全体で見ると極めて狭い世界です。しかも、①を撮るには大抵の場合、どこかへ出かけなくてはなりません。全日写連では毎年、相当数の高齢会員が退会されます。その理由の多くが「体力的に遠出するのがしんどくなったから」です。こちら「そうですか」としか言えません。

誰しも老化は避けて通れません。しかし、写真は自宅周辺や部屋の中でも十分素敵な作品を撮ることができます。西本先生の母・喜美子さん(91)は、その好例でしょう。なので私は、写真が好きな人に体力的な理由だけでカメラをやめてほしくないのです。

話が逸れましたが、この教室では、②や③に共通する「創作写真の世界」を学びます。大半の方が「未体験の世界」でしょうし、特にベテラン組は戸惑われるでしょうが、「発見力・着想力・表現力」が鍛えられ、新たな楽しみ方や撮影技能も身に付きます。

第1期はコンテスト常連入賞者のほか、支部長さんや委員さんなど、主にベテランの計44名が申し込まれ、毎回、半数以上が参加。最高齢は三重県の90歳女性会員でした。スペースの関係で書き切れないため、ホームページに載せておきますが、受講生からは「刺激的な内容で興味深かった」「ボケ防止にもなり、写真を楽しんで続けるには本場にいい場」などといった、概ね好意的な感想を頂いています。

写真を長く続けたい人には勿論のこと、作品づくりで行き詰まっている人には解消のお役に立てるかもしれませんし、写真を始めたばかりの人や個人会員さんには、また違った写真仲間も増えると思います。ここは「学ぶ場」で「競う場」ではありません。デジカメやスマホという最高の「遊び道具」を使って、自由な写真を撮りましょう！

(中部本部事務局長 日置康夫)